

東大和市健康増進計画  
平成27年度実施状況報告書



東大和市健康増進計画 基本理念

生涯にわたって  
健康でいきいきと  
豊かな人生を  
おくれるまち  
東大和

## はじめに

東大和市は、市民の皆様が心身ともに健康でいきいきとした豊かな生活を送ることを目指して、平成27年3月に「東大和市健康増進計画」（以下「計画」という。）を策定し、その基本理念を「生涯にわたって 健康でいきいきと豊かな人生をおくれるまち 東大和」として、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を総合目標に掲げ、市全体で健康づくりに関連する様々な施策に取り組んでいます。

このたび、作成した本報告書は、計画第5章第3節「計画の進行管理（計画の評価と見直し）」に基づく年次報告書として、平成27年度に実施した各施策の具体的な事業実績をまとめたものです。

これらの事業実績を踏まえ、計画に掲げた各事業の着実な推進と充実を図り、計画の本旨に沿い、市民の皆様が活力のある豊かな生活を送ってくださるようさらなる健康増進の推進に向け取り組んでまいります。

平成29年3月



～目 次～

I	計画の概要	1
II	評価指標の関連基本データ	6
III	実施状況調査	7
1.	計画分野毎各部別事業数	7
2.	実施状況調査結果の概要	8
3.	実施状況調査結果	
	第1節 生活習慣の改善と推進	
1	栄養・食生活、食育の推進[分類番号1-①]	1 1
2	身体活動・運動[分類番号1-②]	1 2
3	休養[分類番号1-③]	1 4
4-1	飲酒[分類番号1-④-1]	1 5
4-2	喫煙(3-④「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む)[分類番号1-④-1]	1 6
5	歯と口の健康づくり	1 7
	第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備	
1	こころの健康・働く世代の健康づくり[分類番号2-①]	1 8
2	次世代の健康・母子保健対策の推進[分類番号2-②]	2 0
3	高齢者の健康[分類番号2-③]	2 6
4	社会環境整備[分類番号2-④]	3 0
	第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防	
1	がん対策の推進[分類番号3-①]	3 2
2	糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進[分類番号3-②]	3 3
3	循環器疾患の対策[分類番号3-③]	3 4
4	「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策[分類番号3-④]	3 5

# I 計画の概要

## 1. 東大和市健康増進計画について

本計画は、健康増進法に基づく「市町村健康増進計画」であり、食育基本法に定める「市町村食育推進計画」、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知に基づく「母子保健計画」を包含し、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指して計画期間を平成 27 年度から平成 32 年度までの 6 年間としています。

## 2. 計画の体系

### (1) 概要

「生活習慣」「ライフステージ」「発症予防と重症化予防」の三つの分野から構成されています。

#### 分野別目標

#### 施策

### 1 生活習慣の 改善の推進

- ・ 1 栄養・食生活、食育の推進（食育推進計画）
- ・ 2 身体活動・運動
- ・ 3 休養
- ・ 4 飲酒・喫煙（COPDの対策含む）
- ・ 5 歯・口腔の健康づくり

### 2 ライフステージ を通じた健康づくり と健康を支える 社会環境の整備

- ・ 1 こころの健康・働く世代の健康づくり
- ・ 2 次世代の健康：母子保健対策の推進（母子保健計画）
- ・ 3 高齢者の健康
- ・ 4 社会環境整備

### 3 主な生活習慣病 の発症予防と 重症化予防

- ・ 1 がん対策の推進
- ・ 2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進
- ・ 3 循環器疾患の対策
- ・ 4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の対策

## (2) 分野ごとの施策目標と取り組み（役割の分担）

①生活習慣改善の推進—五つの重点項目から構成されています。

### 1 栄養・食生活、食育の推進 東大和市食育推進計画

- ・食生活に関する知識の普及・促進に努めます
- ・健康的な食生活を実践しやすい環境の整備を進めます。
- ・食の安全・安心につながる正しい情報提供を図ります。
- ・全校食育授業を実施します。

### 2 身体活動・運動

- ・身体活動（生活活動・運動）に関する普及啓発に努めます。
- ・身体活動をしやすい環境の整備に努めます。
- ・生活習慣病対策との連動の促進、情報提供に努めます。
- ・子どもの望ましい生活習慣について、子どもと保護者への普及啓発に努めます。
- ・子どもが望ましい生活習慣を身に付けられる環境の整備に努めます。
- ・運動に親しむ取組を推進し、1校1運動や学校間運動交流の実施に努めます。

### 3 休養

- ・適切な睡眠の意義や睡眠のとり方の普及啓発に努めます。
- ・余暇活動の充実を推進します。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、基礎的な生活習慣の確立に努めます。
- ・家庭と協力して、適切な睡眠が取れるように努めます。

### 4-1 飲酒

- ・飲酒が及ぼす健康への影響について普及啓発します。
- ・未成年、妊婦・授乳中の女性への飲酒防止を推進します。
- ・相談体制の整備を図ります。
- ・未成年者の飲酒禁止と、飲酒が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。

### 4-2 喫煙 （「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む）

- ・たばこが及ぼす健康への影響及び「COPD」に関する普及啓発に努めます。
- ・禁煙しやすい環境の整備を図ります。
- ・未成年者の喫煙禁止と喫煙・受動喫煙が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。
- ・未成年者の喫煙防止と受動喫煙防止教育を推進します。

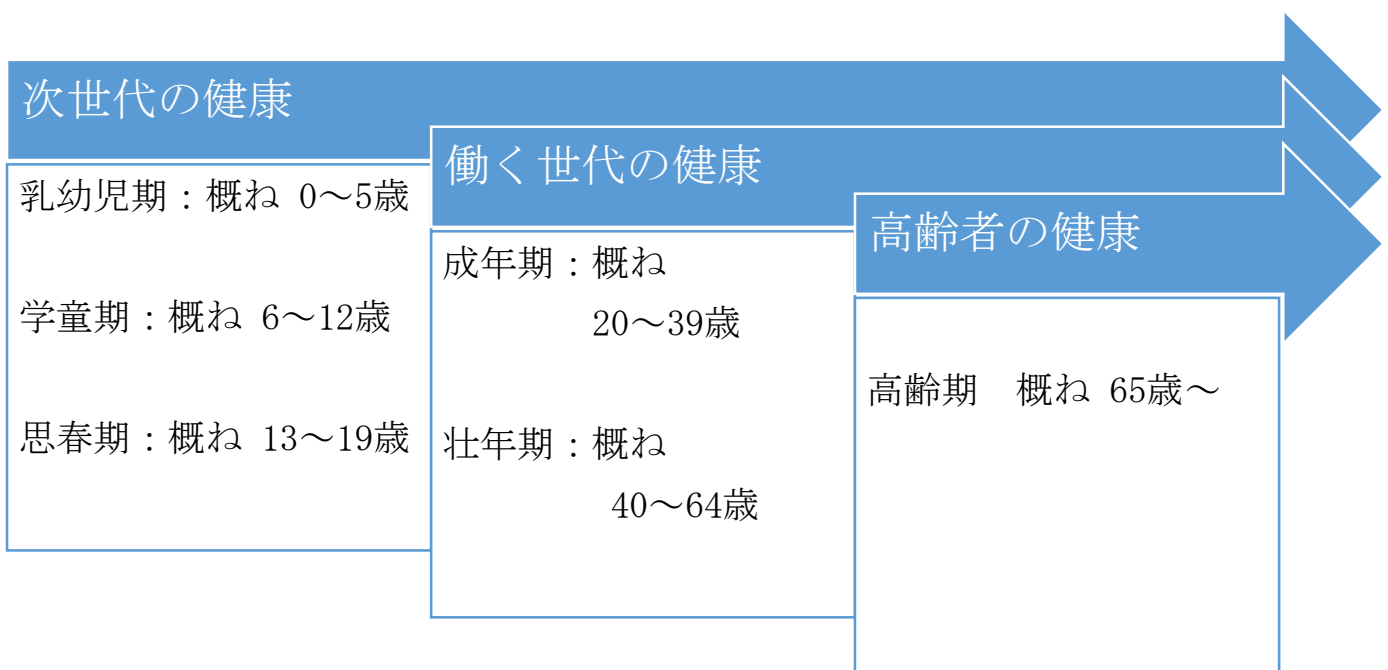
### 5 歯と口腔の健康づくり

- ・切れ目ない子どもの歯科保健の充実を図ります。
- ・成人歯科保健の充実を図ります。
- ・高齢者・障害者の歯科保健の推進を図ります。
- ・かかりつけ歯科医の推進を図ります。
- ・正しい口腔ケアを指導し、習慣付けます。
- ・歯と口腔の健康が、全身の健康と密接に関わっていることを教育活動を通して普及啓発に努めます。

## ② ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

1 こころの健康・働く世代の健康づくり	2 次世代の健康 母子保健対策の推進 東大和市母子保健計画	3 高齢者の健康	4 社会環境整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレス対処法等の知識の普及啓発に努めます。</li> <li>・こころの健康づくりを支える体制づくりの推進を図ります。</li> <li>・こころの健康づくりにつながる地域活動の支援の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策の充実を図ります。</li> <li>・学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実を図ります。</li> <li>・子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進を図ります。</li> <li>・育て中の親への支援体制の整備（育てにくさを感じる親に寄り添う支援）を図ります。</li> <li>・児童虐待発生予防対策の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期を健康で迎え、過ごすことができるよう健康づくりの普及啓発をします。</li> <li>・高齢期を健康で迎え、過ごすことができるよう健康づくりに取り組みやすい環境の整備の推進を図ります。</li> <li>・介護予防事業等によって地域の高齢者の健康状況等を把握し、実情に応じた事業を実施します。</li> <li>・（東大和市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき実施します。）</li> <li>・高齢社会に対する教育の一環として、高齢者との交流の推進に努めます。</li> <li>・生涯にわたって健康な生活を送れるよう、進んで運動に取り組む教育を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のつながりと健康状態が関係することについて、普及啓発を行います。</li> <li>・地域のつながりを醸成します。</li> <li>・地域活動に健康づくりの視点を入れ、活動を支援します。</li> <li>・児童・生徒や教職員の地域行事への参加や地域住民の学校活動への参加を通じて、地域のつながりを醸成します。</li> </ul>

3 区分のライフステージで構成されています。



③ 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防 - 4 疾病で構成されています。

1 がん対策の推進

- ・がん予防に関する正しい知識を普及します。
- ・がん予防に取り組みやすい環境を整備します。
- ・がん検診等を実施し、受診率と検診の質を向上させます。
- ・健康教育をより一層充実するとともに、望ましい生活習慣の育成に努めます。

2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進

- ・糖尿病・メタボリックシンドロームを予防する生活習慣などに関する知識を普及します。
- ・発症予防や重症化予防に取り組みやすい環境を整備します。
- ・特定健康診査・特定保健指導、後期高齢者医療健康診査を実施します。
- ・健康に対する関心を高め、主体的に健康を保持・増進する態度を養います。

3 循環器疾患の対策

- ・循環器疾患を予防する生活習慣に関する知識を普及します。
- ・発症予防や重症化予防に取り組みやすい環境を整備します。
- ・早期発見・早期治療のために成人健康診査を実施します。
- ・「生活習慣チェックリスト」や「自己点検表」などを作成し、子ども自身が進んで生活習慣を改善できる資質・能力を育成していきます。
- ・養護教諭や学校医等が中心となって学校全体で生活習慣の改善が促進されるよう取り組んでいきます。

4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の対策

- ・生活習慣の改善の推進4-2喫煙に準じます。
- ・〈再掲〉
- ・たばこが及ぼす健康への影響及び「COPD」に関する普及啓発に努めます。
- ・禁煙しやすい環境の整備を図ります。
- ・未成年者の喫煙禁止と喫煙・受動喫煙が及ぼす健康への影響について、学校医や学校薬剤師等との連携により、普及啓発に努めます。
- ・未成年者の喫煙防止と受動喫煙防止教育を推進します。



### 3. 計画の目標数値の設定

総合目標を達成するため、分野ごとに指標となる数値を設定しました。  
数値は、国や都が策定した関連計画の目標値を原則としました。



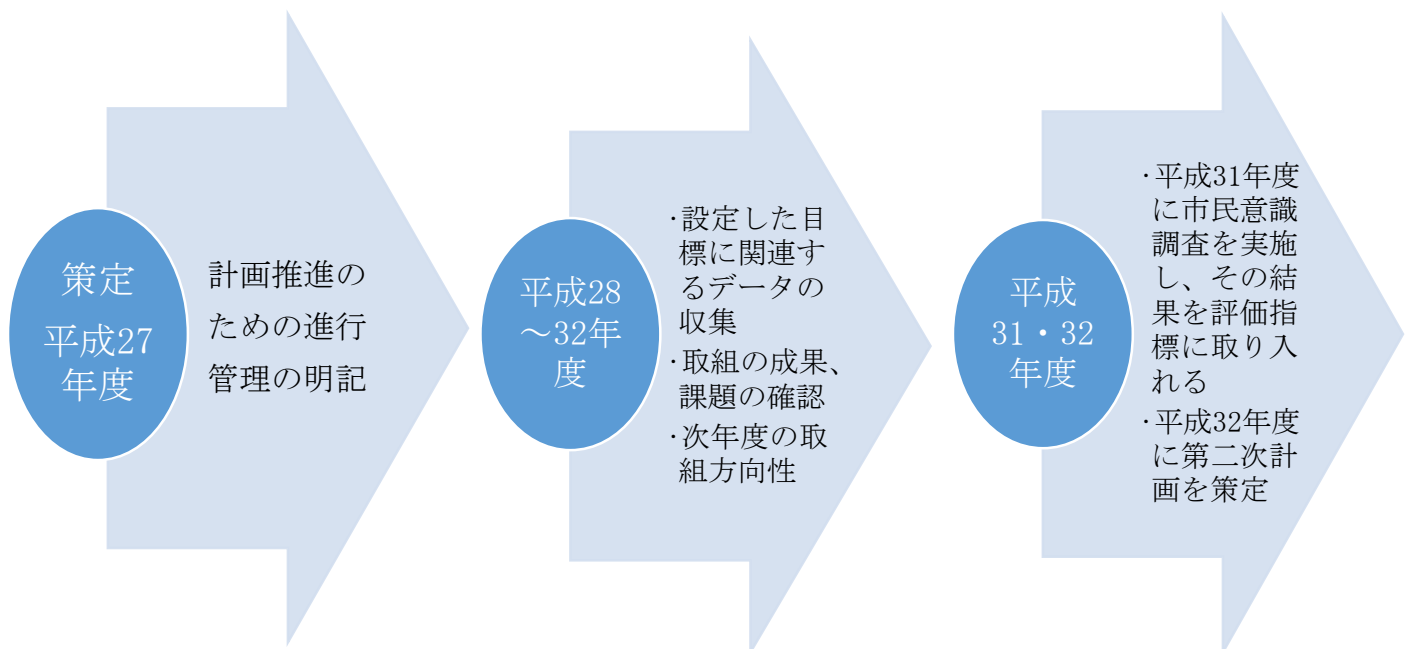
#### 施策の目標

市民意識調査結果や各種統計資料から抽出した健康課題に対応する内容としました。



### 4. 計画の進行管理

健康づくりに関連した施策の推進を図るとともに、各年度の事業の実績・進捗について、地域福祉審議会に、報告し、意見を聴き、計画の進行管理や評価を行います。



## II 評価指標の関連基本データ

「北多摩西部医療圏保健医療福祉データ集平成27年度版」より

		H28/1/1	H27/1/1	H26/1/1
1	人口	86,101	86,162	85,297
	世帯	37,966	37,742	37,108

2		0歳～14歳	15歳～64歳	65歳～	
	年齢構成比	H28/1/1	13.5%	61.2%	25.3%
		H27/1/1	13.5%	61.9%	24.6%
		H26/1/1	13.7%	62.4%	23.9%

		H26年度	H25年度	H24年度
3	出生数	682	680	762

		H26年度	H25年度	H24年度
	合計特殊出生率	1.37	1.40	1.54

4		A		B		
		男	女	男	女	
	65歳健康寿命	H25年度	82.6	85.6	81.3	82.7
		H24年度	82.5	85.5	81.3	82.8

※Aは「要介護2以上」の認定を受けるまでの状態を健康と考えた場合

※Bは「要支援1以上」の認定を受けるまでの状態を健康と考えた場合

5		男	女	
	平均寿命	H22年度	79.8	86.5

		H26年度	H25年度	H24年度
6	死亡数	668	685	697
	死亡率	7.8‰	8.2‰	8.3‰

		H26年度	H25年度	H24年度
7	特定健康診査受診率	52.2%	51.4%	50.5%
	保健指導実施率	19.0%	8.0%	8.5%

		H26年度	H25年度	H24年度
8	妊娠届出数	-	689	684
	新生児訪問	622		

### Ⅲ 実施状況調査 1. 計画分野毎各部別事業数

分野別 目標	施策	部	企画財政部	市民部	総務部	福祉部	子ども生活部	環境部	都市建設部	学校教育部	社会教育部	その他	計	
第1節 生活習慣の改善と推進	1 栄養・食生活、食育の推進			1		5	1						7	
	2 身体活動・運動			2		2	2			2	3		11	
	3 休養													
	4-1 飲酒					2							2	
	4-2 喫煙 (3-④「COPD」慢性閉塞性 肺疾患対策を含む)					1						1	2	
	5 歯と口の健康づくり					5							5	
	1 ことろの健康・ 働く世代の健康づくり			1	4	5	1			2	3		16	
	2 次世代の健康・ 母子保健対策の推進			1		17	12			8	3		41	
	3 高齢者の健康			2		15	1				4		22	
	4 社会環境整備					6	2	2			2		12	
	1 がん対策の推進					1							1	
	2 糖尿病・ メタボリックシンドローム予防 対策の推進			3		3			1				7	
	3 循環器疾患の対策					1							1	
	4 「COPD」 慢性閉塞性肺疾患の対策 (再掲)					1						1	2	
	計			0	10	4	64	19	2	1	12	15	2	129

## 2. 実施状況調査結果の概要

平成27年度の実施事業については、行政報告に掲載された事業をベースとして各課へ調査を実施した。

### (1) 調査結果表の見方

・分類番号については、下記一覧の中から主目的として該当するものを各課が選択

1-①： 栄養・食生活、食育の推進

1-②： 身体活動・運動

1-③： 休養

1-④-1： 飲酒

1-④-2： 喫煙

1-⑤： 歯と口の健康づくり

2-①： こころの健康・働く世代の健康づくり

2-②： 次世代の健康・母子保健対策の推進

2-③： 高齢者の健康

2-④： 社会環境整備

3-①： がん対策の推進

3-②： 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進

3-③： 循環器疾患の対策

3-④： 「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策

・評価については、分類番号の内容に照らした実施状況について各課が選択

3： 順調

2： おおむね順調

1： 着手

0： 未着手

### (2) 分野・部別事業数

#### ①「第1節 生活習慣の改善」

・市民部、福祉部、子ども生活部、学校教育部、社会教育部の5つの部において27の関連事業が実施されていた。

・最も多い項目は「身体活動・運動」の11事業で、5つの部すべてにおいて事業が実施されていた。

・次いで多い項目は「栄養・食生活、食育の推進」の7事業であり、市民部、福祉部、子ども生活部の3つの部において実施されていた。

- ・その他の項目は、福祉部で実施されていた。
- ・「休養」を主目的とした関連事業の実施はなかった。

## ②「第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備」

- ・事業実施数は、全分野を合わせた129の全ての事業のうち、最も多い91事業が実施され、70.5%を占めていた。
- ・企画財政部と都市建設部を除く部において、関連事業が実施されていた。
- ・91事業のうち、担当部署ごとの事業実施数は、福祉部の43事業が最多で、次いで子ども生活部の16事業、社会教育部の12事業、学校教育部の10事業となり、4つの部でそれぞれ二桁以上の事業が実施されていた。
- ・事業のうち、最も多い項目は「次世代の健康・母子保健対策の推進」の41事業であり、市民部、福祉部、子ども生活部、学校教育部、社会教育部の5つの部において実施されていた。
- ・次いで多い項目は「高齢者の健康」の22事業で、市民部、福祉部、子ども生活部、社会教育部の4つの部において実施されていた。
- ・その他の「こころの健康・働く世代の健康づくり」は16事業、「社会環境の整備」は12事業となっている。
- ・総務部では、「こころの健康・働く世代の健康づくり」の関連事業が、環境部では「社会環境の整備」の関連事業が実施されていた。
- ・福祉部、子ども生活部、社会教育部では、4つの項目全てにおいて、関連事業が実施されていた。

## ③「第3節 生活習慣病の発症予防及び重症化予防」

- ・市民部、福祉部、都市建設部の3つの部において、11の関連事業が実施されていた。
- ・「糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進」の関連事業が市民部と都市建設部で実施されていた。
- ・その他の項目は、福祉部で実施されていた

## (3) 今後

- ・地域福祉審議会の答申を踏まえつつ、「東大和市健康増進計画」の基本理念は、WHOが提唱した「ヘルスプロモーション」の考え方に立って定められていることから、各事業の検証・修正・企画・実施に、このヘルスプロモーションの考え方が活用されるよう実施状況調査の改善について検討していくこととする。

ヘルスプロモーション：WHO（世界保健機関）が1986年のオタワ憲章において提唱した21世紀の健康戦略です。「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、**改善することができるようにするプロセスである**」と定義されています。「すべての人びとがあらゆる生活舞台で健康を享受することのできる公正な社会の創造」を健康づくり戦略の目標としています。

目標実現のための活動方法として、「健康な公共政策づくり」、「健康を支援する環境づくり」、「地域活動の強化」、「個人技術の強化」、「ヘルスサービスの方向転換」を柱としています。活動の大きな特徴は、「住民や当事者の主体性を重視していること」、「各個人がよりよい健康のための行動をとることができるような政策等も含めた環境を整えること」に重点がおかれています。

<参考資料：地域における健康日本21実践の手引きより>

## 2. 実施状況調査結果

### 第1節 生活習慣の改善と推進

評価の基準	3: 順調
	2: 概ね順調
	1: 着手
	0: 未着手

※評価の基準の表記につきましては、障害者計画・障害福祉計画と共通としています。

#### 1 栄養・食生活、食育の推進【分類番号 1-①】

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
1-① 1	農業振興対策 ・体験事業	市民に農作物の収穫等を体験してもらうことにより、農業及び農作物への関心及び理解を一層深め、もって都市農業や地産地消の推進を図った。 参加者合計285名	2 参加者と農業者の交流を図り、また健康課栄養士による食育に関する講義を行うなど、安心安全な食に関する意識の啓発を図った。	産業振興課
1-① 2	消費者保護対策事業 ・消費者講座	健康に関連する消費者講座を2回開催した。 日時：平成27年7月2日（木） テーマ：機能性表示食品って何だろう？ 日時：平成27年12月10日（木） テーマ：減塩を目指して～塩分を測ってみよう～	1 定員に対して参加者が少なかったため。	市民生活課
1-① 3	離乳食講習会 幼児食講習会	乳幼児期の食事のあり方や栄養についての知識の普及を図った。 離乳食講習会 22回 参加者309人 （個別相談 87件） 幼児食講習会 3回 参加者49人 （個別相談 25件）	2 乳幼児の保護者対象に離乳食・幼児食講習会を実施し、栄養バランスや生活リズム、生活習慣病予防について健康教育を行った。また、希望者へ個別相談を実施した。	健康課
1-① 4	親子料理教室	小学生と保護者対象に実施 2回実施 参加者数46人	2 旬の食材を使った料理教室を開催し、規則正しい生活リズムと栄養バランス等親子の食育の啓発を図った。	健康課
1-① 5	生活習慣病 予防教室	①生活習慣病予防教室 年2回 延38人	1 参加者が全体的に少なく、新規の参加者・若年層参加者への周知等の工夫の必要がある。	健康課
1-① 6	食育推進事業	幅広い食育をテーマにした教室を実施した。 4回実施 参加者数 55人	2 食育に関して幅広くテーマを設定し、外部講師による教室事業を実施した。成人対象回では若年層（30～40代）の参加者を増やしていきたい。	健康課
1-① 7	食育 ネットワーク 会議	年3回開催 主な内容： ①食育ガイドライン改訂版について ②健康のつどい「食育推進コーナー」について	2 多様な分野が連携し情報交換を行った。 健康のつどいでは野菜摂取量向上や食育ガイドラインの普及啓発を行った。	健康課

## 第1節 生活習慣の改善と推進 2 身体活動・運動【分類番号1-②】

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
1-② 1	観光推進事業 うまかんべ～ 祭「うまかん べ～ウォーキ ング」	平成27年度も西武鉄道と多摩都市 モノレールとの共催、また、うまかん べえ～祭と同時開催でウォーキン グイベントを実施した。	3 平成27年度も、うまかん べえ～祭と同時開催で実施 し、 1491人の参加者があつ た。	産業 振興課
1-② 2	スイーツ ウォーキング	市内を東西2つのコースに分け、各 コース約9kmの道のりを市内にある スイーツ（和洋菓子パン等）取扱店 を巡りながら当市の魅力を再発見し てもらうウォーキングを実施した。	3 平成27年度については、2 コース制にしたことによ り、参加者を500人から600 人に増やし、申し込みを 行つた。	産業 振興課
1-② 3	児童館運営事 業・クラブ活 動	各児童館において、小学生以上を対 象にクラブ活動を実施した。 総クラブ数4事業 参加延べ人数1,262名	2 児童に運動等の機会を提供 することができた。さらなる 参加数の増と内容を充実 させたい。	青少年 課
1-② 4	児童館運営事 業・各種行事	各児童館において、地域の団体やボ ランティアの協力を得ることにも努 め、季節に沿つた行事などを実施し た。 総行事数98件 参加延べ人数9,534名	2 児童に気軽に児童館活動を 参加してもらうことがで きた。 さらなる参加者数の増と内 容を充実させたい。	青少年 課
1-② 5	学校行事・部 活動等運営支 援事業・第 40回中学校 体育大会	市内中学校部活動（バトミントン、 ソフトテニス、卓球、バスケット ボール、野球、サッカー、女子バ レーボール、硬式テニス）の大会を 支援した。	3 それぞれの部活動の練習成 果を発揮する場、また同じ スポーツをする生徒の交流 の場となるなど、大会は、 それに参加する生徒の心身 の成長の一助となっている。	指導室
1-② 6	学校行事・部 活動等運営支 援事業・第7 回中学生「東 京駅伝」大会	都立東大和高等学校の陸上部と合 同練習を行うなど、市内中学校から 選抜された選手を、東京駅伝の練習 及び参加について支援した。	3 平成27年度は、大会に向け 高校陸上部と合同練習をす るなど、高い意識を持った 練習を行い、大会に臨むこ とができた。	指導室
1-② 7	スポーツ推進 委員活動事業	東大和市におけるスポーツの推進に 係る体制の整備を図るため、熱意と 能力のある委員により様々なスポ ーツ活動が実施された。	2 市内の多くのスポーツイベ ントで、委員の能力が発揮 されて、スムーズな運営に 貢献している。	社会 教育課
1-② 8	スポーツ振興 事業	市民の間にスポーツを振興し、あわ せて健康増進・体力向上及び相互交 流を図るため、様々なスポーツ活動 を実施した。	2 多くのイベントを開催して いるが、特にふれあい市民 運動会では、多世代交流、 地域交流も行われ、2,000 人を超える参加があつた。	社会 教育課
1-② 9	体育施設運営 事業	市内の各運動施設の管理運営を行 なっている。一部施設については指 定管理を行なつた。	2 多くのスポーツをしたい市 民に対し、場と機会の提供 を行なっている。	社会 教育課
1-② 10	いきいき ヘルシー教室	いきいきヘルシー教室 年2回 延55人	1 市民の関心のあるテーマ等 を設定しているが、参加者 数は横ばいであるため、工 夫が必要である。	健康課



分類	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由		担当課
整理番号					
1-② 11	骨粗鬆症検診	対象者：40～70歳の5才節目の女性 受診者数 125人	1	受診者数が定員を下回っているため、受診勧奨の工夫を行う必要がある。	健康課

## 第1節 生活習慣の改善と推進

### 3 休養【分類番号1-③】

平成27年度における休養を主目的とした市事業の実施はなし。

# 第1節 生活習慣の改善と推進

## 4-1 飲酒【分類番号1-④-1】

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
1-④ -1 1	健康づくり 講演会	講演会を開催した。 「健康に良いお酒の飲み方」 参加者数 15人	2 健康の保持増進を図る目的 で、その時期の話題になる テーマと専門医師を選定 し、より多くの市民が参加 するよう工夫し開催した。	健康課
1-④ -1 2	普及啓発・情 報提供	妊娠届出時に妊婦の飲酒状況調査及 び情報提供を行った。 妊婦の飲酒割合 時々飲む18.4% 飲む 5.2%	2 アンケートを用いた状況把 握を行い、飲酒の健康へ及 ぼす影響について普及啓発 を行っている。	健康課

## 第1節 生活習慣の改善と推進

### 4-2 喫煙（3-④「COPD」慢性閉塞性肺疾患対策を含む）

【分類番号1-④-2】

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
1-④-2 1	妊娠育児期間 及び乳幼児 学童への たばこ対策	妊娠届出時に妊婦の喫煙状況調査及び 情報提供を行った。 妊婦の喫煙割合 吸う 2.0%	2 アンケートを用いた状況把握を行い、 たばこの健康へ及ぼす影響について 本人及び家族全体を見据えた普及啓発 を行っている。 妊婦の喫煙率は減少傾向である。	健康課
1-④-2 2	建物内における禁煙	施設等における禁煙を実施した。 禁煙の表示を行った。	3 市の行政建物内における禁煙を全施設 で実施できた。 (分煙を含む)	施設管理 各課

# 第1節 生活習慣の改善と推進

## 5 歯と口の健康づくり【分類番号1-⑤】

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
1-⑤ 1	妊婦歯科 健康診査	希望者に健診票を発行し、市内指定 歯科医療機関で実施した。 受診者数 231人	2 妊娠届出者（妊婦）数に対 して、受診者数が少ない 為。	健康課
1-⑤ 2	母子保健事業 歯科相談	むし歯予防教室 年6回 延174人 歯科健康診査 年30回 保健指導 延376人 歯科予防処置 年35回 延256人 歯科卒業教室 年6回 延124人	3 予定数の利用があるため、 今後も継続する。	健康課
1-⑤ 3	歯周病予防 講演会	年1回開催 「あなたもたぶん歯周病です」 受講者数 21人	2 幅広い年代への普及啓発を 図る為、若年層の受講者数 を増やしたい。	健康課
1-⑤ 4	歯周疾患検診	対象者：40. 50. 60. 70歳の市民 受診者数：291人	2 定員に対して受診者数が少 ない為。	健康課
1-⑤ 5	歯科医療連携 事業	訪問歯科診療を推進した。	2 継続的に訪問診療は続いて いるが、新規患者が少な い。	健康課

## 第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

### 1 こころの健康・働く世代の健康づくり【分類番号2-①】

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課		
					評価の基準	
					3：順調	
					2：概ね順調	
1：着手						
		0：未着手				
2-① 1	メンタルヘルス研修	職員の心の不調の予防とケアに対する取り組みの一環として、メンタルヘルス研修を実施した。 受講者数：50名	3	職員のメンタルヘルスに対する理解を深めることができた。	職員課	
2-① 2	健康管理	職員等の定期健康診断、胃検診、VDT検診、大腸がん検診、採用時健診、特定保健指導等を実施した。 受診者数合計：1,009名	3	職員等の健康管理を適正に実施することができた。	職員課	
2-① 3	メンタルヘルス対策事業	臨床心理士によるメンタルヘルス相談を実施した。実施回数：36回 利用人数：100名 ストレスチェックを実施した。受検者数：612名	3	職員のメンタルヘルス対策を適正に実施することができた。	職員課	
2-① 4	職場環境整備	産業医による職場巡視を実施した。 実施回数：8回 衛生委員会を開催した。 開催回数：7回	3	職員環境を適正に維持するため、職場巡視と衛生委員会を実施することができた。	職員課	
2-① 5	国民健康保険事業 結核・精神医療給付事業	感染症の予防及び感染症の患者に関する法律及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第58条自立支援医療制度（精神通院）にかかる医療費の自己負担分を支給した。件数：6,076件	3	当該被保険者からの申請により的確に事務を行っているため。	保険年金課	
2-① 6	福祉事務所 嘱託医	一般医及び精神科医による、生活保護医療要否意見の審査等を実施した。 H27審査日数 一般医：50日 精神医：24日	3	審査体制は現状では過不足なし。必要に応じて助言等を求めるなどの体制も構築できているため	生活福祉課	
2-① 7	法外援護事業 ・健康支援	健康管理器具の購入費支給等を実施した。 H27利用世帯：1世帯	2	必要に応じた対応を行っているが、まだ制度周知についての余地はあるため	生活福祉課	
2-① 8	生活保護費支出 ・医療扶助	被保護世帯に対する、原則的に無料な医療等の提供をした。 H27医療扶助費：1,379千円	2	必要な医療を提供することができているが、他法活用など適正化に関する部分にはまだ推し進める余地があるため	生活福祉課	
2-① 9	中国残留邦人等生活支援給付・支出 状況 医療支援、 出産支援	中国残留邦人支援世帯に対する、原則的に無料の医療等の提供をした。 H27医療支援費：132,900円	2	過不足なく必要性に対応できているため	生活福祉課	

※評価の基準の表記につきましては、障害者計画・障害福祉計画と共通としています。

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-① 10	ひとり親家庭 ・女性相談 ・医療健康相 談	ひとり親及び女性の、生活一般相談 (医療・健康・家庭等)を179回 行った。	3 ひとり親及び女性の悩みに 対し、問題点の整理や適切 なサービスを紹介する等 により、こころの健康づく りに寄与することができた ため。	子育て 支援課
2-① 11	教育センター 運営事業 さわやか教育 相談「精神・ 身体に関する」	市内に在住又は在学する児童・生徒 の教育上の諸問題に関する相談活動 を通じて、一層の教育相談の充実を 図ることを目的に実施した。 (精神・身体に関する相談件数 15 件)	3 児童・生徒の抱える教育上 の諸問題の軽減や解決に向 けて、一定の成果を上げて いる。	指導室
2-① 12	教育センター 運営事業 スクールソー シャルワー カー相談事業 「精神・身体 に関する」	問題を抱える児童・生徒の状況を 的確に把握し、当該児童・生徒が置 かれた環境へ働きかけたり、関係機 関とのネットワークを活用して連携 したり、問題の改善及び軽減を図る ことを目的に実施した。(精神・身 体に関する相談件数 10件)	2 スクールソーシャルワー カー相談事業は、平成27年 度新規事業であるが、相談 業務等において一定の成果 を上げている。さらに充実 にむけて努力していく。	指導室
2-① 13	各図書館事業	自殺防止図書展の実施 中央図書館 自殺対策強化月間に合わせ関連図書 の展示・貸出を行った。H27.9.2～ 9.16/H28.3.2～3.16開催、展示冊 数162冊、貸出冊数162冊	3 利用者の関心が高く、心が 軽くなる資料や落語等の資 料を展示したところ多くの 貸出があった。	中央 図書館
2-① 14		桜が丘図書館 自殺対策強化月間に合わせ関連図書 の展示・貸出を行った。H28.3.2～ 3.16開催、展示冊数58冊、貸出冊数 49冊	3 前年度より、展示冊数を増 やしたことにより、貸出実 績も倍に伸ばすことがで きた。	中央 図書館
2-① 15		清原図書館 自殺対策強化月間に合わせ関連図書 の展示・貸出を行った。H28.3.2～ 3.16開催、展示冊数78冊、貸出冊数 68冊	3 当事者周辺の人向けの図書 展示を充実させ、前年度よ り大幅に貸出実績を伸ば すことができた。	中央 図書館
2-① 16	成人保健事業 こころの健康 づくり事業	①こころの健康相談 年10回 延 4人 ②こころの健康づくり講演会 年3 回 延84人 ③心の体温計(セルフメンタル チェックシステム) 年間アクセス数 44,722件	2 健康相談は相談者数が少な い。 こころの体温計は、アクセ ス数を増やす取り組みが必 要である。 講演会では、ゲートキー パー養成を行っている。	健康課

## 第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

### 2 次世代の健康・母子保健対策の推進【分類番号2-②】

#### (1) 評価指標関連基本データ

① 乳幼児健診						H25年度	
3～4か月児健康診査検診		1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査			
受診率	有所見率	受診率	有所見率	受診率	有所見率		
95.6%	25.4%	92.6%	17.9%	90.3%	21.8%		

② 定期予防接種										H26年度	
四種混合		三種(二種)混合			ポリオ		麻しん・風しん		BCG		
第1期初回計	第1期追加	第1期初回計	第1期追加	第2期	第1期初回計	第1期追加	第1期	第2期			
103.8%	106.3%	-	-	68.0%	-	-	100.7%	95.6%	98.5%		

Hb感染症		小児の肺炎球菌感染症		ヒトヒトマウウイルス感染症			水痘	
初回計	追加	初回計	追加	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回
101.5%	108.6%	103.1%	101.4%	-	-	-	30.7%	16.3%

三種(二種)混合(第1期初回計、第1期追加)、ポリオ(第1期初回計、第1期追加)、ヒトヒトマウウイルス感染症(第1回、第2回、第3回)は実績はあるが、対象者数が得られないため不明とした。

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-② 1	国民健康保険 事業 出産育児 一時金事業	東大和市国民健康保険被保険者が 出産したときに世帯主に42万円を支給 した。件数：110件	3 当該被保険者からの申請に よりの確に事務を行っている ため。	保険 年金課
2-② 2	法外援護事業 ・次世代 育成支援	塾代支給等を実施した。 H27利用世帯：20世帯	2 利用率も高く、制度利用者 の進学率も100%となってい るため	生活 福祉課
2-② 3	生活保護費 支出・ 出産扶助	被保護世帯に対する、原則的に無料 で出産費用を提供した。 H27出産扶助費：5,600円	2 過不足なく必要性に対応で きているため	生活 福祉課
2-② 4	乳幼児 医療費 助成事業	義務教育就学前の乳幼児を養育して いる方に、乳幼児に係る保険診療の 自己負担分の医療費を助成した。 対象乳幼児数(3月末現在)：4,339 人	3 乳幼児を養育する方の医療 に係る負担を軽減すること ができたため。	子育て 支援課
2-② 5	義務教育 就学時 医療費 助成事業	小・中学生の児童を養育している方 に、児童に係る保険診療の自己負担 分の医療費の一部を助成した。 対象児童数(3月末現在)：5,751人	3 小・中学生を養育する方の 医療に係る負担を軽減する ことができたため。	子育て 支援課
2-② 6	子ども家庭 支援センター 児童家庭相談	【相談件数】 新規129件、延べ7,998件 【出張相談(児童館等8か所)】 実施回数48回、相談件数50件 【専門相談】 巡回相談実施回数60回 心理相談件数 221件	3 子育てに関するさまざまな 相談に対応し、必要なサー ビスの提供及び関係機関と の調整等の他、出張相談体 制を継続して整備し、積極 的な働きかけにより子ども の安定した生活の確保や親 の育児支援の向上につな がった。	子育て 支援課
2-② 7	子育てひろば ・子育て相談 ・子育て啓発	【子育てひろば(子育て啓発事 業)】 ※大和南/誠愛/玉川上水保育園 ・園内開放：95回/186回/191回 ・育児講座：11回/ 9回/ 8回 ・教室等 : 22回/ 67回/ 70回	3 市内3保育園に事業委託し て、子育て園内開放や育児 講座等を広域にわたり計画 的に実施したことで、孤立 しがちな子育て家庭の支援 を図ることができた。	子育て 支援課



分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-② 8	ひとり親家庭医療費助成事業	ひとり親家庭またはそれに準ずる家庭で、18歳に達した日の属する年度の末日までの児童（一定の障害がある場合は20歳未満）を養育している方及びその児童の保険診療の自己負担分を助成した。 対象世帯・対象者数（3月末現在）：653世帯 1,377人	3 ひとり親家庭等の医療に係る負担を軽減することができたため。	子育て支援課
2-② 9	保育園健康管理状況	市内保育施設21園において健康診断を年2回実施した。	3 嘱託医による診察及び相談等を実施して児童の健康管理に役立っている	保育課
2-② 10	病児・病後児保育事業	病中又は病気回復期の児童を保育する事業であり、市内医療機関に委託した。 実施人数：1,234人	3 平成27年7月から保育園等の園児が保育時間中に体調不良等により保育園等で保育ができなくなった場合で保護者がお迎えに行くことが困難な時、病児・病後児保育室の保育士が保護者に代わり在園する保育園までタクシーでお迎えに行き、当該保育室で病児保育を行う事業（送迎サービス事業）の委託を開始した。これにより、保育が必要な世帯の子育て及び就労の支援を図った。	保育課
2-② 11	助産実施事業	保健上入院して分娩する必要があるにもかかわらず、経済的にその費用を支払うことが困難な妊産婦に対して助産施設（病院等）で助産を実施し、その費用の助成を行った。 平成27年度実施人数4名（内1名都立利用）	3 例年と事業内容に大きな変更点はなく、順調に実施できた。	保育課
2-② 12	やまとあけぼの学園・健康管理状況	小児科医診察：11回 整形外科医診察：11回 神経科医診察：11回 理学療法訓練：12回 作業療法訓練：22回 言語療法訓練：12回 音楽療法訓練：27回 心理相談観察等：38回 ぎょう虫検査：2回 尿検査：1回 歯科健康診査：1回 発育測定：12回	3 嘱託医による診察と各種療法士による訓練、心理相談員による相談等を実施して児童の療育と健康管理に役立っている。	保育課
2-② 13	やまとあけぼの学園・遊びの会、外来相談	①遊びの会 たんぼぼグループ延べ参加幼児数：295人 にこにこグループ延べ参加幼児数：80人 ②外来相談延べ参加幼児数：97人	2 各グループとも月2～4回程度の開催で医師による診察や検査等は実施していないが、親子参加のため保護者からの聞き取りにより健康に関するアドバイス等を行っている。	保育課

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-② 14	狭山保育園 健康管理 状況	(園児対象) ・発育測定12回/年 ・健康診断(0歳児)12回/年、(1歳以上)2回/年 ・ぎょうちゅう検査2回/年 ・歯科健康診断1回/年 ・歯科衛生指導1回/年 ・視力検査(3歳以上児)1回/年 (職員対象) ・細菌検査12回/年 ・健康診断1回/年	3 嘱託医による診察及び相談等を実施して児童の健康管理に役立っている	保育課
2-② 15	児童館運営 事業 子育て支援 事業	各児童館において、乳幼児サークルや乳幼児を対象とした行事を実施した。 総事業数38事業 参加延べ人数8,474名	2 乳幼児の運動や保護者の心のケアなど子育て支援に効果をあげることができた。さらなる参加数の増と内容を充実させたい。	青少年課
2-② 16	就学时 健康診断	小学校入学予定者の健康状況等を的確に把握するため、内科・歯科・視力・面談等を実施した。 (受診者数739名)	3 対象者のほとんどが受診し、健康状況等が把握できた。	学校教育課
2-② 17	健康管理 事業 学校保健 運営連絡会	学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校関係者参加の学校保健運営連絡会を開催した。プール指導の可否基準の確認、学校医等による助言、学校薬剤師による講演を行った。(参加者数32名)	2 学校医等との情報共有が図れたが、参加者数が少なかったこと等から、今後、本連絡会の内容を精査する必要がある。	学校教育課
2-② 18	健康管理 事業 ・学校環境 衛生検査 小学校	教職員及び児童の健康の保持・増進を図るため、学校薬剤師等による環境衛生検査を実施した。(全校適) ・飲料水及びプール水の水質 ・照度・照明、騒音、空気 ・ホルムアルデヒド及びトルエン	3 再検査を実施した項目・学校があったが、最後には、検査結果は全校適となった。	学校教育課
2-② 19	健康管理 事業 定期健康 診断 小学校	児童の健康の保持・増進を図るため、定期健康診断(身長・体重・視力、歯の疾患、耳鼻咽喉頭疾患、結核、心臓、側わん症等)を行った。 (受診者数4,469名)	3 児童の健康の保持・増進につなげられるように、定期健康診断を実施し、保護者には健康診断結果の文書等によりお知らせした。	学校教育課
2-② 20	健康管理 事業 環境衛生検査 中学校	教職員及び生徒の健康の保持・増進を図るため、学校薬剤師等による環境衛生検査を実施した。(全校適) ・飲料水及びプール水の水質 ・照度・照明、騒音、空気 ・ホルムアルデヒド及びトルエン	3 再検査を実施した項目・学校があったが、最後には、検査結果は全て適となった。	学校教育課
2-② 21	健康管理 事業 定期健康診断 中学校	生徒の健康の保持・増進を図るため、定期健康診断(身長・体重・視力、歯の疾患、耳鼻咽喉頭疾患、結核、心臓、側わん症等)を行った。 (受診者数2,077名)	3 生徒の健康の保持・増進につなげられるように、定期健康診断を実施し、保護者には健康診断結果の文書等によりお知らせした。	学校教育課

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-② 22	研究奨励事業・公立学校研究会補助金研究部会 小学校体育 「一人一人が学ぶことの楽しさを味わい、進んで運動に取り組む力を身につける体育学習」	本事業は、課題となっている教育内容について、校内研究活動を奨励し、もって本市教育の充実に寄与することを目的に、当該研究活動の運営に係る経費を補助した。	3 毎年度テーマを決め研究しているところであり、その成果は着実に本市教育の充実に寄与している。（小学校体育部会）	指導室
2-② 23	研究奨励事業・公立学校研究会補助金研究部会 小学校 学校保健 「児童の健やかな心身の発達を目指して」	本事業は、課題となっている教育内容について、校内研究活動を奨励し、もって本市教育の充実に寄与することを目的に、当該研究活動の運営に係る経費を補助した。	3 毎年度テーマを決め研究しているところであり、その成果は着実に本市教育の充実に寄与している。（小学校学校保健部会）	指導室
2-② 24	郷土博物館事業・プラネタリウム 特別投影：もうすぐママのプラネタリウム	妊婦にリラックスしてもらう目的で、プラネタリウムで音楽を流しながら、星空の話をした。27年度は3回実施し、23人の方が参加した。	2 対象が限られているため、参加者の人数に偏りがあるが目的は達成されている。	社会教育課
2-② 25	各公民館活動	蔵敷公民館事業「ベビーマッサージで癒されタイムagain」全2回 延52人	2 乳幼児へのマッサージを学べ健康の増進が図られた。親子のコミュニケーションの機会ともなった。	中央公民館
2-② 26		蔵敷公民館事業「心も身体もほぐしたい！」全8回 延107人	2 8回講座のうち2回でヨガを取り入れ母親のリラクセスを図った。	中央公民館
2-② 27	母子保健事業 健康教育 両親学級	妊婦とその配偶者を対象に、妊娠中の健康管理、出産、新生児の保育・栄養等についての講義やグループワークを行った。 父親が子育てに積極的にに関わり、育児への意識を高めてもらうため、第5回目は土曜日に開催した。 6回（延36日）開催 参加人数実：167人 延512人	2 妊娠期からの健康教育に加え、仲間づくりや地域での子育てに関する情報提供を行った。 父親の育児参加の促進を図る為土曜日の学級開催を行った。	健康課
2-② 28	予防接種事業	対象年齢に達した子どもに各疾病の定期予防接種の勧奨を行った。 <平成27年度接種率> MR第1期 94.8% (731/771) MR第2期 98.0% (750/795) ※接種者数/新規勧奨発送数	2 MRについては、初回の勧奨の他、未接種者に再勧奨を行っており、他自治体と比較して接種率は高水準となっている。	健康課

2-② 29	母子保健事業 歯科相談 (再掲)	むし歯予防教室 年6回 延174人 歯科健康診査 年30回 保健指導 延376人 歯科予防処置 年35回 延256人 歯科卒業教室 年6回 延124人	3	予定数の利用があるため、 今後も継続する。	健康課
2-② 30	妊娠届出 母子健康 手帳交付	妊娠届出 716人 (再掲 11週以内 91.6%) 母子健康手帳交付 (再交付含む) 740件	2	11週以内の妊娠届出率は微 増となっている。 今後もすみやかな妊娠届出 を啓発していく。	健康課
2-② 31	妊婦健康診査	健診受診票1～14回及び超音波検査 を委託医療機関にて実施した。 受診者数延 8430人 また、里帰り等受診票未使用者へ助 成金を支給した。 支給人数 151人	3	妊婦健康診査公費負担につ いては子育てハンドブック や市報で案内し、妊婦は必 要な健診回数を受診してい るため。	健康課
2-② 32	妊産婦 訪問指導 新生児 訪問事業	妊産婦・新生児訪問指導 妊婦 延21件 産婦 延742件 新生児 延701件	3	乳児家庭全戸訪問と併せ、 4か月までの乳児家庭に対 し、保健師・助産師による 訪問指導を実施し、切れ目 ない子育て支援に努めた。	健康課
2-② 33	乳幼児 健康診査	3～4か月児健康診査 受診者数 721人 (受診率 95.2%) 1歳6か月児健康診査 受診者数 732人 (94.8%) 3歳児健康診査 受診者数 726人 (92.7%) 5歳児健康診査 受診者数 615人 (78.5)	2	高い受診率を維持できてい る。未受診者についても状 況の把握に努めている。	健康課
2-② 34	乳幼児 健康診査 継続事業	発達健康診査 年33回 受診者延 164人 経過観察健診 年12回 受診者延 75人 経過観察発達相談 年126回 相談者数延 357人	3	受診希望者の増加に伴い、 定員枠を増やし対応してい る。就学までの継続支援を 地区担当保健師によりきめ 細かに行っている。	健康課
2-② 35	母子保健事業 健康教育 育児学級	乳児期の育児・離乳食に関する母親 の不安・悩みの解決と育児の仲間作 りの場として開催した。 対象者：1歳未満の児を持つ育児不 安を抱える母親等 開催回数：8回 参加者数： 実32人 延70人	2	不安や悩みを抱える母親へ グループワーク形式による 学級を開催し、仲間づくり の場となった。 登録数の約半数の参加であ り、未参加者への支援を検 討する必要がある。	健康課
2-② 36	母子保健事業 健康教育 職員派遣	児童館や自治会、育児サークル等に 市の保健師等を講師として派遣し た。 派遣団体数：18 保健栄養関連：延5回 参加者82人 歯科関連：延15回 参加者977人	2	依頼に基づき、団体等へ保 健師・栄養士・歯科衛生士 等の専門職を派遣し育児や 母子保健に関する健康教育 を実施した。ニーズの多い テーマを集約し鋼材の充実 を図った。 歯科保健の依頼が増えてお り、職員体制の調整は必要 である。	健康課

2-② 37	母子保健事業 個別相談 すこやか広場	乳幼児期の健康・栄養・発育発達・ 疾病等の知識の習得と育児の仲間作 りの場として開催し各専門職による 個別相談を行った。 すこやか広場開催数：44回 保健相談 183件 栄養相談 129件 歯科相談 27件	2	一般相談のほか、未熟児や 高齢初産の母親、多胎児な どの相談会を開催した。 また、地域資源のチラシを 作成・配布し情報提供を 行った。	健康課
2-② 38	母子保健事業 特定不妊 治療費助成	高額な不妊治療を受けた者の医療費 の負担軽減を図り、少子化対策に寄 与することを目的とし助成した。 助成件数：131件	3	申請件数の増加に対応し、 助成を実施できた。	健康課
2-② 39	母子保健事業 未熟児 養育医療 給付	医師が入院養育の必要と認めた未熟 児に対し、医療の給付を行った。 申請件数：10件 給付件数（延）：29件	2	未熟児を養育する保護者の 負担軽減を行った。今後は 手続きの更なる簡素化を図 る必要がある。	健康課
2-② 40	子育て 応援事業	育児パッケージ 申込者数 151人 配布者数 106人	1	他課との連携により、事業 の周知につとめた。全ての 申込み者に対し、パッケー ジ配布が実施できた。	健康課
2-② 41		子育て応援アプリの作成 ダウンロード数347件	2	スマートフォン用アプリ 「東大和スタイル」を作成 した。 さらに内容を充実させてい く必要がある。	健康課

## 第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

### 3 高齢者の健康【分類2-③】

#### (1) 評価指標関連基本データ

##### ① 要介護等認定者

H27/3/31 現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護計	認定者総数							
747	22.3%	548	16.3%	395	11.8%	353	10.5%	314	9.4%	2,357	70.2%	3,356	100.0%

要支援1	要支援2	要支援計			
503	15.0%	496	14.8%	999	29.8%

##### ② 定期予防接種

H26年度

インフルエンザ		高齢者の肺炎球菌感染症	
65歳以上	60～65歳未満	65歳	60～65歳未満
52.3%	51.3%	41.3%	13.3%

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-③ 1	後期高齢者医療事業健康診査	東京都後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、市内外医療機関で健康診査を実施した。受診者数：5,850名	3 受診券発送者数9,278名に対し、63.1%の受診率となっており、前年度受診率62.6%を上回っているため。	保険年金課
2-③ 2	後期高齢者医療事業保健衛生諸事業	被保険者の疾病の早期発見・予防等、健康の保持増進を図るため、人間ドック等を受診した場合、受診料の一部（上限1件23,000円）を助成した。申請者：131件	2 前年度の申請件数138件と概ね同じであったため。	保険年金課
2-③ 3	介護予防・生きがい活動支援事業・生きがいデイサービス	介護保険法に規定する要介護又は要支援に該当しない65歳以上の在宅の高齢者に、高齢者在宅サービスセンターにおいて趣味等の生きがい活動、日常生活動作訓練、相談、養護、食事等のサービスを提供し、当該高齢者の自立生活の助長、社会的孤独感の解消並びに家族等の身体的、精神的な負担の軽減を図った。利用者数：18名	2 新規利用者は2名あったが、利用者の一部は、高齢化による身体機能の低下で介護保険サービス（デイサービス）に移行する方がおり、昨年度比5名減となった。	高齢介護課
2-③ 4	高齢者日常生活支援事業・寝具の乾燥及び水洗い	身体上の障害のため寝具の自然乾燥等が困難な65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯に、寝具の乾燥及び水洗いを実施し、衛生と健康の保持を図った。利用者数：乾燥30名・水洗い20名	2 新規利用者がなく、昨年度比で乾燥6名、水洗い7名減となった。	高齢介護課
2-③ 5	高齢者食事サービス補助	東大和市社会福祉協議会が実施する、身体的、精神的機能低下等により買物・炊事が困難と思われるおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者世帯等に、年末年始を除く毎日、昼食を調理業者が自宅へ配送する「高齢者食事サービス事業」に対し、円滑な運営を図るための補助を実施した。利用者数58名	3 昼食の宅配を通じて、高齢者の栄養改善を図り、健康保持に寄与することができた。	高齢介護課

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-③ 6	高齢者 日常生活 用具の給付	介護保険法に規定する要介護又は要 支援に該当しないと認められる65歳 以上の高齢者で、生活機能が低下し たと認められる者に、自立を支援す るための日常生活用具を給付した。 給付件数：0件	3 相談はあったが結果として 要介護認定等に該当し、介 護保険サービスの給付を受 けることができた。	高齢 介護課
2-③ 7	高齢者 住宅改修の 給付	65歳以上の高齢者に、住宅改修予防 給付又は住宅設備改修給付を行い、 在宅の高齢者の住宅内における転倒 予防、動作の容易性の確保、行動範 囲の拡大の確保、介護者の介護の軽 減等を図った。 住宅改修予防給付：3件 住宅設備改修給付：11件	3 住宅改修予防給付は昨年度 比1件増、住宅設備改修給 付は昨年度比2件増とな り、必要な方に給付でき た。	高齢 介護課
2-③ 8	老人性 白内障 眼鏡等 購入費助成	老人性白内障治療のための手術を受 けた65歳以上の高齢者に対し、手術 後に使用する特殊眼鏡等の購入に要 した費用相当額（補助眼鏡20,000円 以内、特殊眼鏡40,000円以内、コン タクトレンズ25,000円以内）を助成 し、高齢者の経済的負担の軽減と福 祉の増進を図った。 助成件数：補助眼鏡33件、 特殊眼鏡0件、コンタクトレンズ0件	3 助成件数は昨年度と同程度 である。対象者に助成を行 うことで高齢者の健康保持 に寄与することができた。	高齢 介護課
2-③ 9	認知症 サポーター 養成講座	認知症について正しい知識を持ち、 認知症の人やその家族を応援し、誰 もが暮らしやすい地域をつかってい くボランティアを要請するため認知 症サポーター養成講座を開催した。 定期開催 4回 団体向け開催 5団体19回 市職員向け開催 1回	3 平成27年度の受講者数 976人 平成27年度末まで受講者数 延3,664人 第6期介護保険事業計画で は3,000人を目標としてい たが、すでに達成した。	高齢 介護課
2-③ 10	老人クラブ 育成事業	老人クラブ及び老人クラブ連合会に 対して、補助金を交付することで高 齢者の福祉の増進を図った。 補助金交付クラブ数：連合会1団 体、老人クラブ16団体	3 平成27年度は新規に老人ク ラブ1団体が設立し、会員 数も増加した。	高齢 介護課
2-③ 11	高齢者 見守り ぼっくす事業	高齢者の在宅生活の安心を確保する ため、高齢者の見守り支援を専門と した相談窓口として市内3カ所に設 置している。 高齢者からの相談受付や生活状況の 把握、関係機関と連携しながらネッ トワークを構築し、支援を行った。 見守り対象者数：504名(3か所合計) 民間緊急通報システム設置世帯数： 102世帯(3か所合計)	3 平成27年度に市内3か所目 となる「高齢者見守りぼっ くすなんがーい」が開設し、 市内全域の見守り支援体制 を構築することができた。	高齢 介護課
2-③ 12	介護保健 事業 二次予防事業	二次予防事業対象者に対し、筋力 向上トレーニング（1期28回・年 9期）、転倒予防教室（1期13 回・年3期）、お口の健康と栄養教 室（1期10回・年3期）、脳の若 返り教室（1期15回・年3期）を 実施した。	3 教室参加者の教室前後の 効果測定において、どの教 室も機能向上が見られた。 また、教室に参加すること で、社会参加の促進にも繋 がった。	高齢 介護課

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-③ 13	介護保健 事業 一次予防事業 介護予防 普及啓発	一般高齢者等を対象に、イベント「元気ゆうゆうフェア2015with健康のつどい」、はつらつ倶楽部（1期8回・年2期）、東大和元気ゆうゆう体操in市役所中庭等を実施した。	3 イベントを実施したことで、東大和元気ゆうゆう体操や介護予防について、年齢に関係なく普及することができた。 また、教室では、参加者に対し介護予防の必要性について、具体的な方法も含めて普及することができた。	高齢 介護課
2-③ 14	介護保健 事業 一次予防事業 地域介護 予防活動支援	一般高齢者等を対象に、介護予防リーダー養成講座、東大和元気ゆうゆう体操普及推進員養成講座、各養成講座修了者（年度に限らず）に対するフォローアップを実施した。	3 新たに介護予防リーダー21名、体操普及推進員を20名養成した。 また、介護予防リーダー連絡会を3回、体操普及推進員連絡会を4回実施し、活動の支援を行った。	高齢 介護課
2-③ 15	介護保健 事業 一次予防事業 介護支援 いきいき 活動事業	介護予防事業の一環として、健康で生きがいのある暮らしができることを目的として高齢者の皆さんが介護支援活動を通じて地域貢献や社会参加をすることができた。	3 登録者数104名に対し、実績が83名であった。	高齢 介護課
2-③ 16	老人福祉館 運営事業・ 風呂の利用	高齢介護課、介護予防事業の開催場所の提供をした。	2 高齢介護課の年間計画による依頼を概ね受託	市民 生活課
2-③ 17	各公民館活動	狭山公民館事業 ・ 講座、教室等 高齢者「わくわく教室」全8回 延 参加者数：117名	2 おおむね60歳以上の市民の方がストレスやその解消法について学習し、生きがいづくりや仲間づくりの機会となった。	中央 公民館
2-③ 18		上北台公民館 「ほのぼの事業 姿勢をよくして、健康ライフ」 全1 回 20名	3 幼児親子と高齢者が交流しながら、自分の身体を知ることができた。	中央 公民館
2-③ 19		上北台公民館「市民企画地域課題講座 認知症になっても、安心なまちづくり」 全6回 延168人	3 認知症についての知識を深めると同時に、地域で認知症カフェ開設の下地作りをした。	中央 公民館
2-③ 20		南街公民館事業「人生90年時代の生きがい・健康づくり」全5回 延71人	3 生きがい、健康づくりについて学べる講座とした。参加者同志のコミュニケーションも活発であった。	中央 公民館
2-③ 21		予防接種 事業	対象年齢に達した高齢者に定期予防接種の勧奨を行った。 <平成27年度接種率> インフルエンザ 50.6%(11,148/22,018) 高齢者の肺炎球菌 38.2%(1,794/4,699) ※接種率（接種者数/勧奨発送数）	2 インフルエンザについては、全対象者にハガキの勧奨を行っており、他自治体と比較して接種率は高水準となっている。 高齢者の肺炎球菌については、経過措置期間であるため、勧奨発送数に対象とされない既接種者が含まれている。このため、正確な接種率の算出は困難であるため、参考値となる。



## 第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

### 4 社会環境整備【分類番号2-④】

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-④ 1	シルバー人材センター運営・補助事業	高齢者の就業機会の拡大 ① 事業費の補助 26,795,758円 公益目的事業会計に係る人件費等の補助を行った。 ② その他の経費の補助 10,221,242円 法人会計管理運営に要する人件費等の補助を行った。	2 補助を行うことにより、高齢者の就業機会の拡大と会員増強が図れたため。	福祉推進課
2-④ 2	社会福祉協議会運営・補助事業 ・ふれあいのまちづくり事業	地域住民が福祉に理解と関心をよせ、住民相互が助け合い、安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指した。 ① 人件費の補助 42,998,000円 ② ボランティアセンター運営費補助 61,200円 ③ ふれあいのまちづくり事業費補助 7,076,390円 ④ 福祉祭補助 464,000円 ⑤ 地域福祉権利擁護事業補助 1,841,298円 それぞれの補助を行った。	2 地域住民が福祉に理解と関心をよせ、住民相互が助け合い、安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すための補助が行えたため。	福祉推進課
2-④ 3	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 医療介護連携事業	在宅医療・介護連携推進のための地域における多職種連携研修会を3回実施した。	3 計3回の研修会で延べ171名の多職種の方々に出席者いただいた。グループワークなどを取り入れ、多職種間での連携推進と顔の見える関係づくりに貢献した。	高齢介護課
2-④ 4	自治会長等会議「自治会による東大和市の自治会活性化への取り組み紹介」	・自治会長等会議の開催 日時：平成27年5月22日(金)午後7時～9時 参加：47自治会、2自治会集会所管理組織 ・「東大和市の自治会活性化への取り組み」紹介 東大和市新堀自治会による事例発表「青色防犯灯装着車による防犯パトロール」	2 自治会活性化への取り組みについての事例を会議の場で発表したことで、多くの自治会等へ情報提供出来たため。	市民生活課
2-④ 5	消費者保護対策事業 ・消費者相談：保健衛生品 保健福祉サービス	消費者相談事業において、308件中、保健衛生品12件、保健・福祉サービス12件の相談に対応した。	2 消費生活相談員を配置し、消費生活における市民の相談に対応することができた。	市民生活課

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-④ 6	狭山緑地 管理事業 ・アスレチック コース	心身の健康維持向上及び健康育成を 図るため、「安らぎの場」「憩いの 場」としての環境を確保し、その維持 管理に努めた。	2 年間来場者数：32,215人 (昨年度より172人 増)	環境課
2-④ 7	こども広場 管理事業	心身の健康維持向上及び健全育成を 図るため、安全で利用しやすい環境 を確保し、その維持管理に努めた。	2 清掃3回/年、除草2回/ 年、便所清掃2回/週実施 した。	環境課
2-④ 8	社会教育 関係団体育 成事業 ・社会教育 関係団体 連合体補助金 東大和市 体育協会	体育協会、文化協会などの市内7つ の社会教育関係団体連合体の事業に 対し補助金を交付し、その活動を支 援した。	2 各団体活動の振興をとおし て健康増進への関与を図っ ている。	社会 教育課
2-④ 9	社会教育 関係団体育 成事業 ・東大和市民 文化祭	市民の文化活動の振興と市民相互の 交流を図ることを目的に、市・教育 委員会・文化協会の三者による共催 で実施した。	2 様々な年代の市民の文化活 動の振興をとおして健康増 進への関与を図っている。	社会 教育課
2-④ 10	健康づくり 推進会議	市民の健康の維持・増進を図ること を目的として、東大和市健康づくり 推進会議を開催した。	2 年3回開催し、健康のつど い等について会議した。	健康課
2-④ 11	健康のつどい	本事業は、保健事業の普及啓発を図 り、もって市民の健康の保持増進、 健康意識の高揚に寄与することを目 的として開催した。 参加数：648名	2 平成27年度は元気ゆうゆ う体操イベントと同時開催 であり、例年と実施形態が 異なったため、参加数減と なった。	健康課
2-④ 12	休日急患 診療所 運営事業	休日における急患の診療等の態勢を 充実し、市民の健康の保持及び増進 に寄与するため、東大和市休日急患 診療所の管理運営を実施した。	2 休日、祝日、年末年始に開 所し、市民の急患に対応で きた。 1814件	健康課

分類	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
整理番号				
2-③ 22	歯科医療 連携事業 (再掲)	訪問歯科診療を推進した。	2   継続的に訪問診療は続いているが、新規患者が少ない。	健康課

## 第2節 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備

### 4 社会環境整備【分類番号2-④】

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-④ 1	シルバー人材センター運営・補助事業	高齢者の就業機会の拡大 ① 事業費の補助 26,795,758円 公益目的事業会計に係る人件費等の補助を行った。 ② その他の経費の補助 10,221,242円 法人会計管理運営に要する人件費等の補助を行った。	2 補助を行うことにより、高齢者の就業機会の拡大と会員増強が図れたため。	福祉推進課
2-④ 2	社会福祉協議会運営・補助事業 ・ふれあいのまちづくり事業	地域住民が福祉に理解と関心をよせ、住民相互が助け合い、安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指した。 ① 人件費の補助 42,998,000円 ② ボランティアセンター運営費補助 61,200円 ③ ふれあいのまちづくり事業費補助 7,076,390円 ④ 福祉祭補助 464,000円 ⑤ 地域福祉権利擁護事業補助 1,841,298円 それぞれの補助を行った。	2 地域住民が福祉に理解と関心をよせ、住民相互が助け合い、安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すための補助が行えたため。	福祉推進課
2-④ 3	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 医療介護連携事業	在宅医療・介護連携推進のための地域における多職種連携研修会を3回実施した。	3 計3回の研修会で延べ171名の多職種の方々に出席者いただいた。グループワークなどを取り入れ、多職種間での連携推進と顔の見える関係づくりに貢献した。	高齢介護課
2-④ 4	自治会長等会議「自治会による東大和市の自治会活性化への取り組み紹介」	・自治会長等会議の開催 日時：平成27年5月22日(金)午後7時～9時 参加：47自治会、2自治会集会所管理組織 ・「東大和市の自治会活性化への取り組み」紹介 東大和市新堀自治会による事例発表「青色防犯灯装着車による防犯パトロール」	2 自治会活性化への取り組みについての事例を会議の場で発表したことで、多くの自治会等へ情報提供出来たため。	市民生活課
2-④ 5	消費者保護対策事業 ・消費者相談：保健衛生品 保健福祉サービス	消費者相談事業において、308件中、保健衛生品12件、保健・福祉サービス12件の相談に対応した。	2 消費生活相談員を配置し、消費生活における市民の相談に対応することができた。	市民生活課

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
2-④ 6	狭山緑地 管理事業 ・アスレチック コース	心身の健康維持向上及び健康育成を 図るため、「安らぎの場」「憩いの 場」としての環境を確保し、その維 持管理に努めた。	2 年間来場者数：32,215人 (昨年度より172人 増)	環境課
2-④ 7	こども広場 管理事業	心身の健康維持向上及び健全育成を 図るため、安全で利用しやすい環境 を確保し、その維持管理に努めた。	2 清掃3回/年、除草2回/ 年、便所清掃2回/週実施 した。	環境課
2-④ 8	社会教育 関係団体育 成事業 ・社会教育 関係団体 連合体補助金 東大和市 体育協会	体育協会、文化協会などの市内7つ の社会教育関係団体連合体の事業に 対し補助金を交付し、その活動を支 援した。	2 各団体活動の振興をとおし て健康増進への関与を図っ ている。	社会 教育課
2-④ 9	社会教育 関係団体育 成事業 ・東大和市民 文化祭	市民の文化活動の振興と市民相互の 交流を図ることを目的に、市・教育 委員会・文化協会の三者による共催 で実施した。	2 様々な年代の市民の文化活 動の振興をとおして健康増 進への関与を図っている。	社会 教育課
2-④ 10	健康づくり 推進会議	市民の健康の維持・増進を図ること を目的として、東大和市健康づくり 推進会議を開催した。	2 年3回開催し、健康のつど い等について会議した。	健康課
2-④ 11	健康のつどい	本事業は、保健事業の普及啓発を図 り、もって市民の健康の保持増進、 健康意識の高揚に寄与することを目 的として開催した。 参加数：648名	2 平成27年度は元気ゆうゆ う体操イベントと同時開催 であり、例年と実施形態が 異なったため、参加数減と なった。	健康課
2-④ 12	休日急患 診療所 運営事業	休日における急患の診療等の態勢を 充実し、市民の健康の保持及び増進 に寄与するため、東大和市休日急患 診療所の管理運営を実施した。	2 休日、祝日、年末年始に開 所し、市民の急患に対応で きた。 1814件	健康課

### 第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

#### 1 がん対策の推進【分類番号3-①】

(1) 評価指標関連基本データ

① がん検診等受診率						H25年度
	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	
東大和市	2.2%	2.4%	6.4%	16.9%	21.8%	

評価の基準	3：順調	※評価の基準の表記につきましては、障害者計画・障害福祉計画と共通としています。
	2：概ね順調	
	1：着手	
	0：未着手	

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
3-① 1	がん検診 事業	(検診名 受診者数 精検受診率) 胃がん検診 602人 97.9% 肺がん検診 770人 87.5% 子宮がん検診 995人 57.9% 乳がん検診 922人 89.5% 大腸がん検診 894人 87.0% 前立腺がん検診 398人 72.4%	2 健康カレンダーの全戸配布等により市民への周知や勧奨の工夫を行っている。未受診者もまだ多くいることから、個別勧奨等の取組みを検討したい。	健康課

※精検受診率(精密検査受診率)：要精密検査者数から精密検査未受診者数及び精密検査未把握者数を除いた割合

### 第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

#### 2 糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策の推進【分類3-②】

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
3-② 1	国民健康 保険事業 特定健康 診査事業	40歳から74歳までの加入者を対象として、市内外医療機関で特定健康診査を実施した。その結果により必要のある方に対して特定保健指導を実施した。 特定健康診査受診者数：8622人、特定保健指導利用者数：136人	2 受診券発送者数16,769名に対し、51.4%の受診率となっており、前年度受診率51.5%とほぼ同じである。	保険 年金課
3-② 2	国民健康 保険事業 保健衛生 諸事業	レセプトデータ・健診データを活用した医療費分析を行い、その結果から以下の保健事業を実施した。①糖尿病等重症化予防プログラム。プログラム終了者数：12人(2年目以降のフォロー25人)②保健師等による家庭訪問相談。訪問者数：17人③受診勧奨通知の送付。送付件数：174件④ジェネリック医薬品利用促進通知の送付。送付件数：8,062件。また、満40歳以上の被保険者の疾病の早期発見・予防等、健康の保持増進を図るため、人間ドック等を受診した場合、受診料の一部(上限1件23,000円)を助成した。申請者：500件	2 平成25年度に当事業を開始したが、年々事業への参加者数が減ってきてしまっているため。	保険 年金課
3-② 3	国民健康 保険事業 健康づくり 相談	東京都国民健康保険団体連合会の協力を得て、健康づくり相談(骨密度・血圧・血管年齢測定、健康づくり相談等)及びパネル展示・ビデオ放映を実施した。1回目：89人、2回目：93人	3 健康づくり相談への市民の関心が高く、参加者が増加している。定員を超えてしまうケースもあり。	保険 年金課
3-② 4	都市計画 事務事業 ・ウォーキン グマップの 印刷配布	ウォーキングマップは、市民等が市の自然や文化財に親しみながら街の散策を行えるよう印刷、配布しているもので、保険年金課及び健康課が実施する特定保健指導対象者への同封物として、同課の依頼に基づき提供した。 提供数：3,600部	3 保健年金課及び健康課が特定保健指導の対象者に利用券を送付する際の身近な健康づくりの啓発物の一つとして活用されることにより、市の健康増進事業に寄与することができた。	都市 計画課
3-② 5	成人保健 事業 健康診査	若年層健康診査(20~39才) 受診者数 324人  無保険者等健康診査(40歳以上) 受診者数 407人	2 若年層・無保険者健診共に受診者が定員を下回っており、周知方法や個別受診勧奨などの検討も必要である。	健康課
3-② 6	成人保健 事業 検診、検査	【検診】 肝炎ウイルス検診 2,222人 骨粗鬆症検診 125人 歯周疾患検診 291人 胃がんリスク検査 549人	2 骨粗鬆症検診や歯周疾患検診の受診者数が定員を下回っており、また、節目年齢検診であるため、対象者への受診勧奨を工夫する必要がある。	健康課
3-② 7	糖尿病 予防教室	②糖尿病予防教室 年2回 延48人	1 新規参加者や若年層の参加が少ない。	健康課

### 第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

#### 3 循環器疾患の対策【分類3-③】

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
3-③ 1	生活習慣病 予防教室 (再掲)	①生活習慣病予防教室 年2回 延38人	1 参加者が全体的に少なく、 新規の参加者・若年層参加 者への周知等の工夫の必要 がある。	健康課



### 第3節 主な生活習慣病の発症予防及び重症化予防

#### 4 「COPD」慢性閉塞性肺疾患の対策【分類番号3-④】

※「第1節 生活習慣の改善と推進 4-2 喫煙」の再掲

分類 整理番号	事業名	平成27年度実施事業内容	平成27年度の評価と理由	担当課
3-④ 1	妊娠育児 期間及び 乳幼児学童 へのたばこ 対策 (再掲)	妊娠届出時に妊婦の喫煙状況調査及 び情報提供を行った。 妊婦の喫煙割合 吸う 2.0%	2 アンケートを用いた状況把握 を行い、たばこの健康へ 及ぼす影響について本人及 び家族全体を見据えた普及 啓発を行っている。 妊婦の喫煙率は減少傾向で ある。	健康課
1-④ -2 2	建物内 における禁煙 (再掲)	施設等における禁煙の実施 禁煙の表示の実施	3 市の行政建物内における禁 煙を全施設で実施できた。 (分煙を含む)	施設管 理 各課

東大和市健康増進計画

平成27年度実施状況報告書

平成29年3月

発行 東大和市福祉部健康課  
〒207-8585

東大和市中心3丁目930番地

電話：042-563-2111（代表）

印刷 東大和市総務部文書課印刷室

東大和市健康増進計画

基本理念

生涯にわたって

健康でいきいきと

豊かな人生を

おくれるまち

東大和

